

令和5年第10回教育委員会定例会議事日程

1 日 時

令和5年9月26日（火） 午前9時30分から

2 場 所

島本町役場 3階 委員会室

3 議 事

第1 会議録確認委員の決定

第2 教育長職務代理者の指名

第3 第23号報告 令和5年度教育費補正予算（案）の臨時代理について

第4 第32号議案 島本町スポーツ推進委員の委嘱について

第5 第24号報告 令和5年度「全国学力・学習状況調査結果」の公表について

第 2 3 号 報 告

令和 5 年 度 教 育 費 補 正 予 算 (案) の 臨 時 代 理 に つ
い て

教 育 長 に 対 す る 事 務 委 任 規 則 (昭 和 3 4 年 島 本 町 教 育 委 員 会 規
則 第 1 号) 第 3 条 第 1 項 前 段 の 規 定 に よ り 別 紙 の と お り 処 理 し ま
し た の で 、 同 項 後 段 の 規 定 に よ り 報 告 し 、 承 認 を 求 め ま す 。

令 和 5 年 9 月 2 6 日 提 出

島 本 町 教 育 委 員 会

教 育 長 中 村 り か

令和5年度 教育費補正予算総括表

第23号報告資料

【単位：千円】

歳出	款	項	目	補正前の額	補正要求額	補正後の額	補正予算要求額における財源内訳			
							特定財源			一般財源
							国庫支出金	府支出金	地方債	
	教育費	教育総務費	教育センター費	614	9	623	0	0	0	9
		小学校費	学校管理費	23,891	194	24,085	0	0	0	194
		中学校費	学校管理費	15,835	115	15,950	0	0	0	115
		合計		40,340	318	40,658	0	0	0	318

※補正要求額には、職員の人件費（給料、会計年度任用職員以外の職員手当等、共済費）は含まない。
 ※補正前の額等は、今回補正する事業の「節」に関する金額を記載している。

【単位：千円】

歳出内訳説明書				要求内訳	説明
目	要求額	事業名	節（細節）	要求内訳	説明
教育センター費	9	学校支援事業	報酬 (会計年度任用職員報酬)	9	事務職 (報酬単価の改正による増額)
小学校費	194	学校管理事業	委託料 (事務等委託料)	194	校務業務 (シルバークリニカセンターの委託単価の改正による増額)
中学校費	115	学校管理事業	委託料 (事務等委託料)	115	校務業務 (シルバークリニカセンターの委託単価の改正による増額)
計	318			318	

第 3 2 号 議 案

島本町スポーツ推進委員の委嘱について

教育長に対する事務委任規則（昭和 3 4 年島本町教育委員会規則第 1 号）第 1 条第 1 項第 1 5 号の規定に基づき、議決を求めます。

令和 5 年 9 月 2 6 日 提出

島本町教育委員会

教育長 中 村 り か

島本町スポーツ推進委員名簿

(任期: 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

	氏名	住所	就任年月日
1	かめやまさと 亀山里是	島本町山崎二丁目	平成24年 4月1日
2	たばかえな 畑佳苗	島本町桜井五丁目	平成26年 9月1日
3	かきもとしょうへい 柿本祥平	島本町山崎一丁目	平成29年 6月1日
4	かしわなみね 柏風音	島本町若山台二丁目	令和3年 9月1日
5	つやまさえり 津山江里	島本町若山台一丁目	令和3年 9月1日
6	こやまたみお夫 小山民夫	島本町江川二丁目	令和5年 10月1日
7	おかだれいじろう 岡田礼二郎	島本町若山台一丁目	令和5年 10月1日
8	なかのあき菊 中野あき	島本町広瀬五丁目	令和5年 10月1日
9	くぼたこうじ 久保田航史	島本町水無瀬一丁目	令和5年 10月1日
10	つじてるつぐ次 辻輝次	島本町東大寺三丁目	令和5年 10月1日

が新規委員

令和5年10月1日現在

第 2 4 号 報 告

令和 5 年 度 「全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 結 果」 の 公
表 に つ い て

標 記 の こ と に つ い て、 別 紙 の と お り 報 告 い た し ま す。

令 和 5 年 9 月 2 6 日 提 出

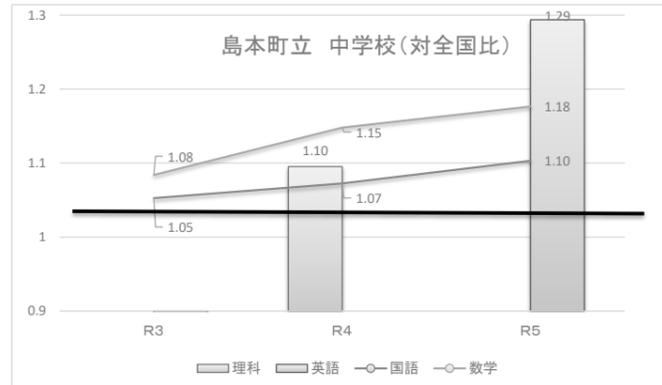
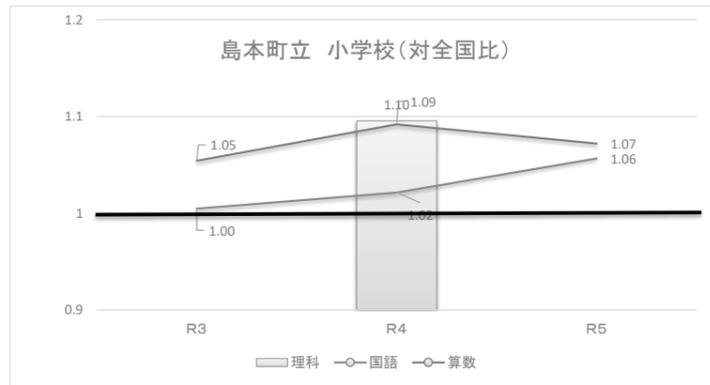
島 本 町 教 育 委 員 会

教 育 長 中 村 り か

校種・教科・区分別正答率比較／対全国経年比較

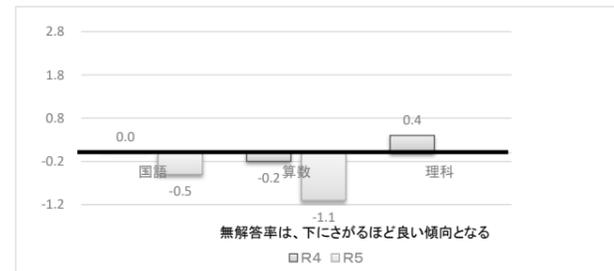
	【小学校】 R3				R4				R5			
	島本町	大阪府	全国	町-全	島本町	大阪府	全国	町-全	島本町	大阪府	全国	町-全
国語	65	63	64.7	0.3	67	64	65.6	1.4	71	66	67.2	3.8
算数	74	70	70.2	3.8	69	63	63.2	5.8	67	62	62.5	4.5
理科					66	60	63.3	2.7				

	【中学校】 R3				R4				R5			
	島本町	大阪府	全国	町-全	島本町	大阪府	全国	町-全	島本町	大阪府	全国	町-全
国語	68	62	64.6	3.4	74	67	69	5	77	68	69.8	7.2
数学	62	56	57.2	4.8	59	51	51.4	7.6	60	50	51	9
英語									59	45	45.6	13.4
理科					54	47	49.3	4.7				

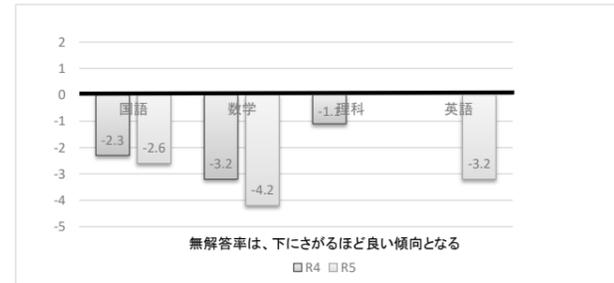


校種・教科・区分別無解答率比較／対全国年度比較 (R4・R5)

	【小学校】 R4					R5				
	町	府	全国	町-府	町-全国	町	府	全国	町-府	町-全国
国語	5.7	5.9	5.7	-0.2	0.0	4.3	5.1	4.8	-0.8	-0.5
算数	3.3	3.6	3.5	-0.3	-0.2	2.3	3.5	3.4	-1.2	-1.1
理科	4.0	4.2	3.6	-0.1	0.4					



	【中学校】 R4					R5				
	町	府	全国	町-府	町-全国	町	府	全国	町-府	町-全国
国語	1.9	5.3	4.3	-3.4	-2.3	2.0	5.2	4.6	-3.2	-2.6
数学	7.5	12.1	10.8	-4.6	-3.2	5.4	11.0	9.6	-5.6	-4.2
理科	2.3	4.5	3.4	-2.2	-1.1					
英語						2.5	6.4	5.7	-3.9	-3.2



(1) 学力調査結果の概要

【小学校】

- ・平均正答率については、すべての教科において全国平均を上回った。
- ・問題別では、すべての教科において、複数の区分で全国平均を上回った。
- ・無解答率についても、すべての教科において、全国平均と比較して良い結果となった。

【中学校】

- ・平均正答率については、すべての教科において全国平均を上回った。
- ・問題別では、すべての教科において、すべての区分で全国平均を上回った。
- ・無解答率についても、すべての教科において、全国平均と比較して良い結果となった。

○令和4年度平均正答率の全国平均と令和5年度との差

小学校：国語+2.4ポイント、算数-1.3ポイント
 中学校：国語+2.2ポイント、数学+1.4ポイント

(2) 学習状況調査結果の概要

※数値は、島本町全体の肯定的な回答の割合(%)と、全国平均との差【 】
 ※成果としてとらえられる点は○、課題としてとらえられる点は●で示した

□話し合い活動について

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
 <小学校：児童質問紙13番> 島本町：71.7%【-4.8】
 <中学校：生徒質問紙13番> 島本町：81.2%【+3.6】
 ○児童・生徒がそれぞれ意見を持ち、対話を通して、新たな気づきや発見につながるような、全員参加の対話・話し合い活動に取り組んだ成果が表れている。
 ●小学校においては、今後もより一層必然性のある課題設定を通じた授業改善を図っていく必要がある。

□ICT機器の活用について

「(過去に受けた)授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」
 <小学校：児童質問紙29番> 島本町：55.9%【-6.5】
 (ほぼ毎日～週3回以上と答えた児童)
 <中学校：生徒質問紙33番> 島本町：60.4%【-0.7】
 (ほぼ毎日～週3回以上と答えた生徒)
 ●ICT機器を当たり前道具として活用できるよう、計画的に情報活用能力を育成していくことを目指す。また、探究的な学習や体験活動等を通じ、児童・生徒同士で協働しながら、課題解決ができるような協働的な学びの充実を図っていく。

□自学自習について

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」(よくしている、ときどきしていると答えた割合)
 <小学校：児童質問紙16番> 島本町：66.7%【-4.0】
 <中学校：生徒質問紙16番> 島本町：57.7%【+2.7】
 ●ICT機器なども活用し、一人ひとりの児童・生徒に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供し、児童・生徒自身で自らの学習が最適となるように調整しながら学んでいくことができるよう、個別最適な学びの充実を図っていく。

□学級活動について

「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」
 <小学校：児童質問紙40番> 島本町：84.1%【+6.9】
 <中学校：生徒質問紙44番> 島本町：82.3%【+4.4】
 ○児童・生徒が自分の考えを伝え、互いのよさや違いを認め合うことができる学級づくりを進めた。今後も、児童・生徒の自己選択・自己決定、役割分担、学び合いの機会を設定し、教育活動全般を通じて、他者意識を持ち、コミュニケーションを大切に学級づくりの充実を図っていく。

□読書活動について

「読書は好きですか」
 <小学校：児童質問紙24番> 島本町：71.1%【-0.7】
 <中学校：生徒質問紙24番> 島本町：73.4%【+7.4】
 ○学校図書館司書の全校配置や町立図書館との連携等、読書環境の充実を図ってきた成果が表れている。
 ●小学校において、児童の言語能力、情報活用能力、問題解決能力等の育成に向けて、学校図書館司書と連携しながら、学校図書館を様々な場面で活用し、学習活動を支援できるよう指導していく。

□将来について

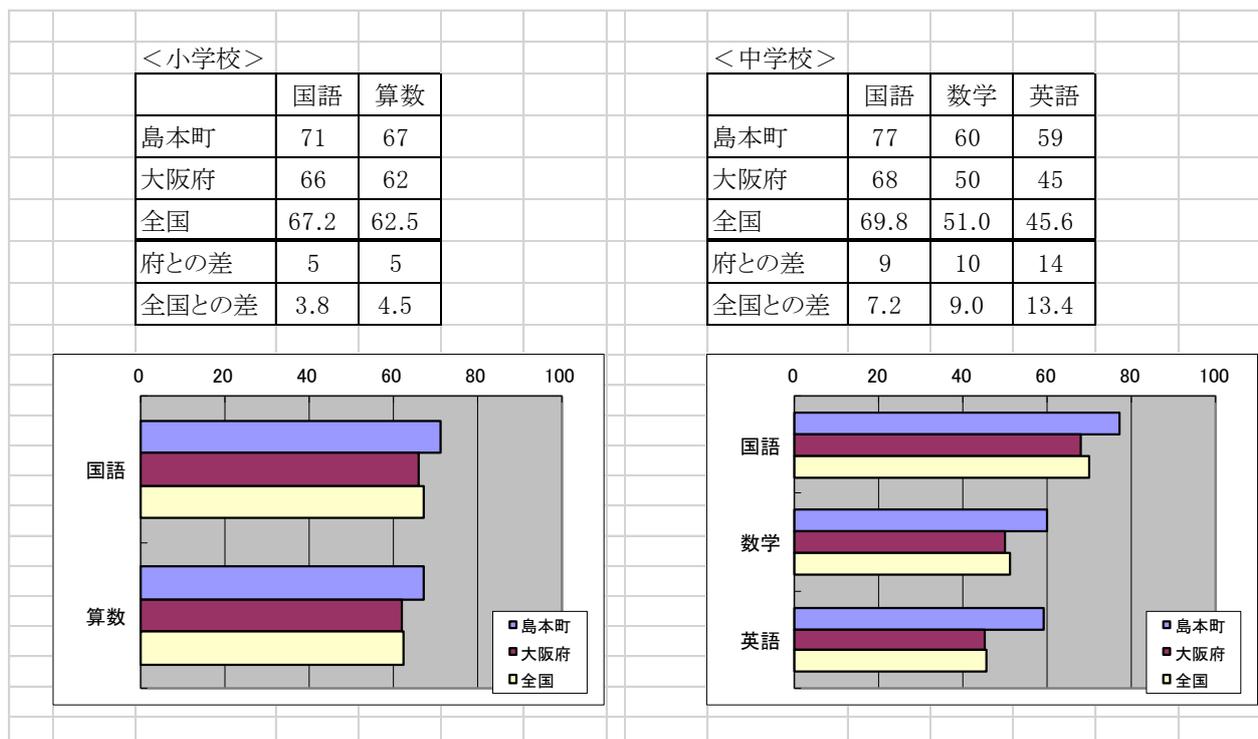
「将来の夢や希望を持っていますか」
 <小学校：児童質問紙7番> 島本町：84.1%【+2.6】
 <中学校：生徒質問紙7番> 島本町：68.4%【+2.1】
 ○各学校で行う教育活動を通じ、児童・生徒が社会の中で、自分の生き方を見つけていけるよう、自らの選択を大切にすることが、自己の生き方を考え、主体的に判断していく等、キャリア形成に共通した能力や態度の育成につながった。

令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

本年4月18日、全国の小学6年生及び中学3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施され（悉皆調査は令和4年度に続き13回目）、7月24日に文部科学省より都道府県別の調査結果が発表されました。その概要についてお知らせします。

1 本町の結果概要について

平均正答率一覧（単位は100%中の正答率の値）



学力に係る調査は、小学校は国語、算数の2教科、中学校は国語、数学、英語の3教科について実施されました。

小学校において、全国平均に対して国語では3.8ポイント、算数では4.5ポイント上回る結果となりました。

中学校においても、全国平均に対して国語では7.2ポイント、数学では9.0ポイント、英語では13.4ポイント上回る結果となりました。

無解答率については、小学校及び中学校ですべての教科区分で全国平均と比較して良い結果となりました。（無解答率については、値が低いほど良い傾向となります。）

2 質問紙調査結果について

※数値は、町全体の肯定的な回答の割合（%）と、全国との差【ポイント】

(1) 話し合い活動について

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

<小学校：児童質問紙13番> 島本町：71.7% 【-4.8】

<中学校：生徒質問紙13番> 島本町：81.2% 【+3.6】

(2) 自学自習について

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」（よくしている、ときどきしていると答えた児童・生徒の割合）

<小学校：児童質問紙16番> 島本町：66.7% 【-4.0】

<中学校：生徒質問紙16番> 島本町：57.7% 【+2.7】

学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

等)の育成が掲げられ、その育成のために、各教科において、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進してきました。また、昨年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育活動の制限がある中で、活動目的を明確にし、課題に正対した取組みを推進してきました。今後も、一人ひとりの児童・生徒の違いを認め合えるような教育活動の充実を図っていきます。

3 主体的に学ぶ力の育成に向けた取組について

- (1) すべての児童・生徒が安心して学び合い、高め合うための集団づくりを進めます。
- (2) 他者意識を伴ったコミュニケーション力の育成を図ります。
- (3) 「複数の資料を比較して読む」、「文章を批判的に読み、信憑性を評価する」、「読んだことについて、自分の考えを記述する」ことに課題を焦点化した取組に加えて、児童・生徒が自ら学習の必然性に気づき、課題を発見できるような、探究的な学習を推進してまいります。
- (4) 個別最適化の学びと協働的な学びを実現するため、ICT機器をあたりまえの「学びのツール」として活用します。
- (5) 学習意欲を重視し、自己調整の結果、総合的に学びを深めていける学びの場づくりを設定してまいります。

本調査結果や過去のデータ、また「島本町学習状況調査」の結果等を含め、総合的に分析を行い、それぞれの学校が組織的に「学力向上」策を検討・実施することで、児童・生徒一人ひとりの「確かな学力」を育成していきます。

なお、この調査は、対象が限られた学年（小学6年生、中学3年生）のみの実施であり、加えて、国語、算数・数学、英語という学力全体の一部を調べたものです。したがって、公表したデータが本町の児童・生徒の学力全体を表すものではありません。

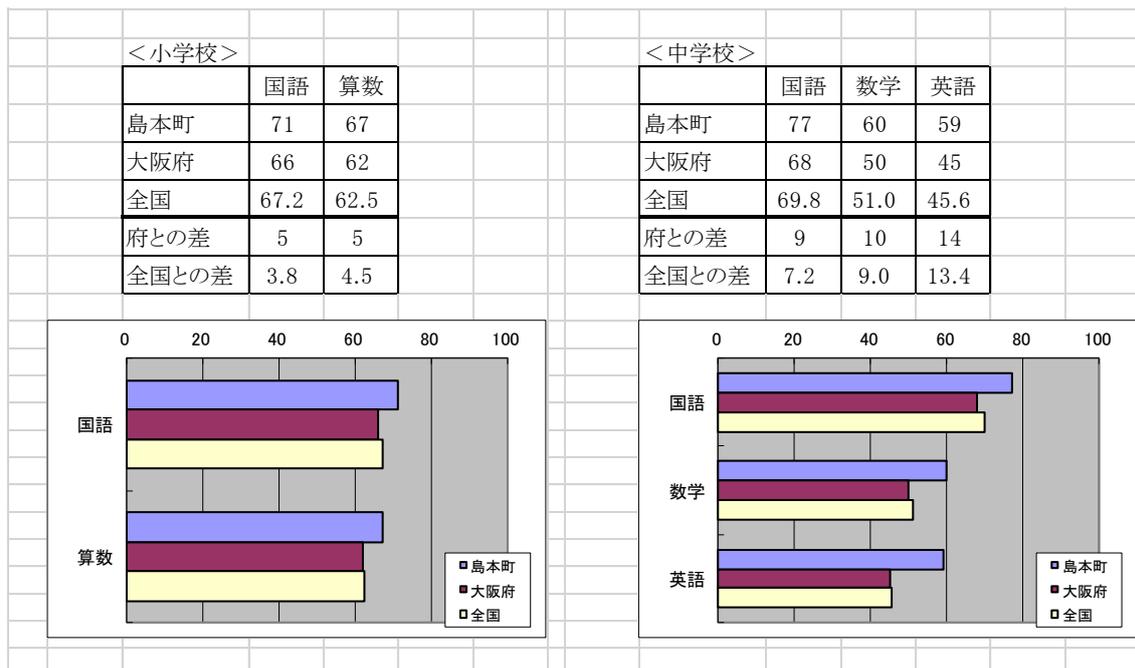
参考資料（ホームページリンク先）

- 国立教育政策研究所：<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>
- 大阪府教育委員会：<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/zenkoku/index.html>

広報しまもと 11月号用

表 題（おおむね 23 文字以内）＝令和 5 年度 全国学力・学習状況調査

（リード文）



令和 5 年 4 月 1 8 日、全国の小学校 6 年生および中学校 3 年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施され、都道府県別結果が公表されました。

学力に係る調査は、小学校は国語、算数の 2 教科、中学校は国語、数学、英語の 3 教科について実施されました。

教育委員会および各学校では、同時に調査した学習状況に関する「児童・生徒質問紙調査」の結果や、過去の分析結果も踏まえながら、さらにくわしく分析するとともに、総合的な「学力向上」策を検討・実施し、一人ひとりの児童・生徒の学力向上を図っていきます。なおこの調査は、実施教科が国語、算数または数学、英語に限られた学力の一部の測定であり、町の児童生徒の学力全体を表すものではありません。※くわしい内容は、後日町HPに掲載いたします。

問 教育推進課 ☎ 962・0391

